



1



5

- 1 間仕切りがなく、開放的なリビング・ダイニング・キッチン。リビングの一部を勾配天井することで、空間にリズムが生まれます。
- 2 道路に面する壁には、1・2階を通すスリットを設け、その窓フレームには、陶芸作家に依頼した特注タイルが用いられています。シンプルながらも、アクセントの効いた外観に。
- 3 琉球量の和室。天井の埋め込み照明も職人の手仕事によって、丁寧に造られています。
- 4 2階はロフトのある寝室。上部には、太い棟木が通った小屋組が見えます。何気なく見上げた時に目に映るしっかりした木組みは、暮らしに安心感をもたしてくれます。
- 5 奥さまのご要望であった対面式キッチンは、ご家族との会話を楽しみながら、家事をすることができます。
- 6 引き戸や扉を開けると、一続きの空間のように見える2階部分。



6

自然素材とエネファームタイプSで
人と環境にやさしい住まい

1階は、住まいのメインとなるリビング・ダイニング・キッチンと和室を配置。2階は、それぞれの居室スペースに大容量の収納が可能なロフトを設置。2階も引き戸や扉を開けると、居室やホールが「続き」となっているように感じられる、つながりのある開放的な空間が広がります。

「最近の住まいではあまり見かけなくなった大きな大黒柱や梁化粧丸柱などを要所に用い、しっかりと強度を兼ね備えた木の空間を目指しました」と、東山さん。「ほとんどの壁は漆喰、和室は越前和紙、リビングと和室の一部には左官職人こだわりの土壁が用いられています。こ

した自然素材を用いることで、調湿効果や防臭効果で室内を快適な状態に保ってくれるだけでなく、有害な物質も吸着してくれるため人にやさしい住空間が実現します」と語ります。

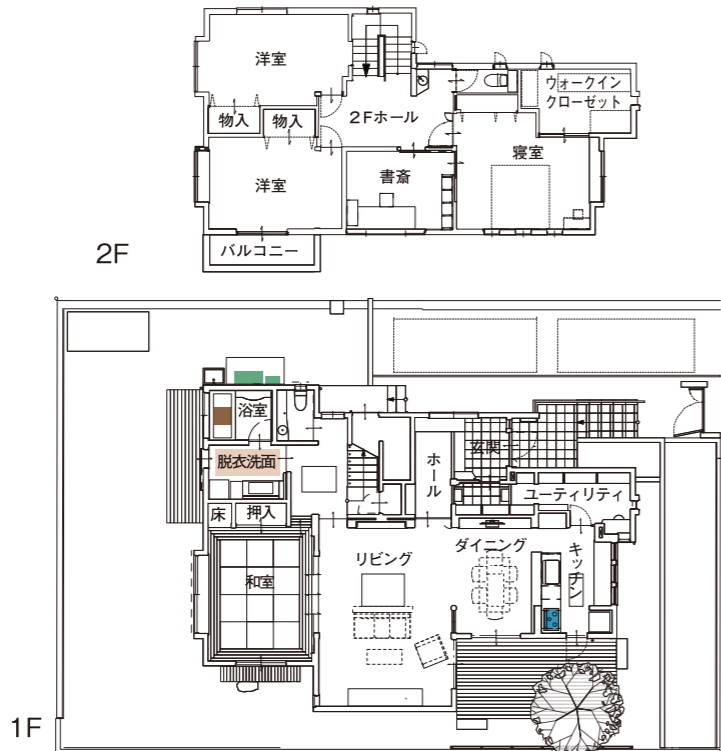
「設備や資材など、具体的なナリクエが、多く、住まいづくりについて、よく調べられていましたので、とても進めやすかったです。エネファームタイプの導入にも積極的でした。とてもよい仕事ができ、Sさまの想い、描いたものを、ベストなカタチで具現化できたと思います」と語る東山さん。その傍らで微笑むSさま。夫婦の表情から、この住まいの心地よさが伝わってきます。



建築家
ひがしやま あきら
東山 明さん

1967年大阪府生まれ。1990年近畿大学理工学部建築学科卒業。1990年出江建築事務所勤務。1992年いるか設計集団にて自力建設を経験。1996年東山明建築設計事務所開設。第1回人間サイズのまちづくり賞受賞(共同設計集団_Unit聚にて)一級建築士、耐震診断員。

- ・連絡先: 東山明建築設計事務所
- ・住所: 兵庫県神戸市北区有野中町2-17-10
- ・TEL: 078-981-5177
- ・FAX: 078-981-5395
- ・URL: <http://higayama.net/>
- ・e-mail: higayama@nifty.com



星和台の家(S邸)
縮尺=1/250

- エネファーム ■ ヌック
- ミストカワック ■ Siセンサーコンロ

- 星和台の家(S邸)
- ・所在地/兵庫県神戸市
 - ・家族構成/ご夫婦+お子さま
 - ・敷地面積/328.94㎡
 - ・建築面積/112.56㎡
 - ・延床面積/196.00㎡
 - ・構造/規模/木造・地上2階建
 - ・施工/株式会社高翔
 - ・設計期間/2015年8月~2016年10月
 - ・施工期間/2016年10月~2017年6月

- 導入ガス設備・システム
- ・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム エネファーム4type S
 - ・ガス温水床暖房 ヌック
 - ・ガス温水浴室暖房乾燥機 ミストカワック
 - ・Siセンサーコンロ



3



4

離れた場所からの住まいづくりは
SNSで綿密な打ち合わせを実施

豊かな自然に恵まれた住宅街の一角に建つ「星和台の家」は、定年退職を機に、石川県から神戸市へと移り住むことになったSさまのお住まい。奥さまの実家が淡路島にあることから、車で行き来しやすい場所でセカンドライフを過ごすことを望まれたのだと言います。

「はじめてご連絡を頂いた時は、石川県からということでも驚きました」と話すのは、「星和台の家」を手掛けた東山明建築設計事務所の東山明さん。「ホームページで東山さんが手掛けた住まいが気に入る、すぐにメールをしました」と、Sさま。「現場監理なども任せられる、信頼のおける建築家にお話ししたかった。直接お話ししてこの人しかいない、と思いましたが、当時を振り返ります。「土地探しから一緒に見て回りましたが、あとのやり取りは主にSNSで。けれど、施工途中の細かな打ち合わせも、綿密に行えたと感じます」と、東山さんは話します。

Sさまからのご要望は、木をふんだんに用いた住まい、というもの。「無垢材に包み込まれたような、やさしい住まいづくりを心掛けました。メインとなる1階は、できるだけ間仕切りが少ない、開放的な空間に。視線の抜け感なども考慮して、プランニングを行いました」と、東山さん。



2